令和8年度

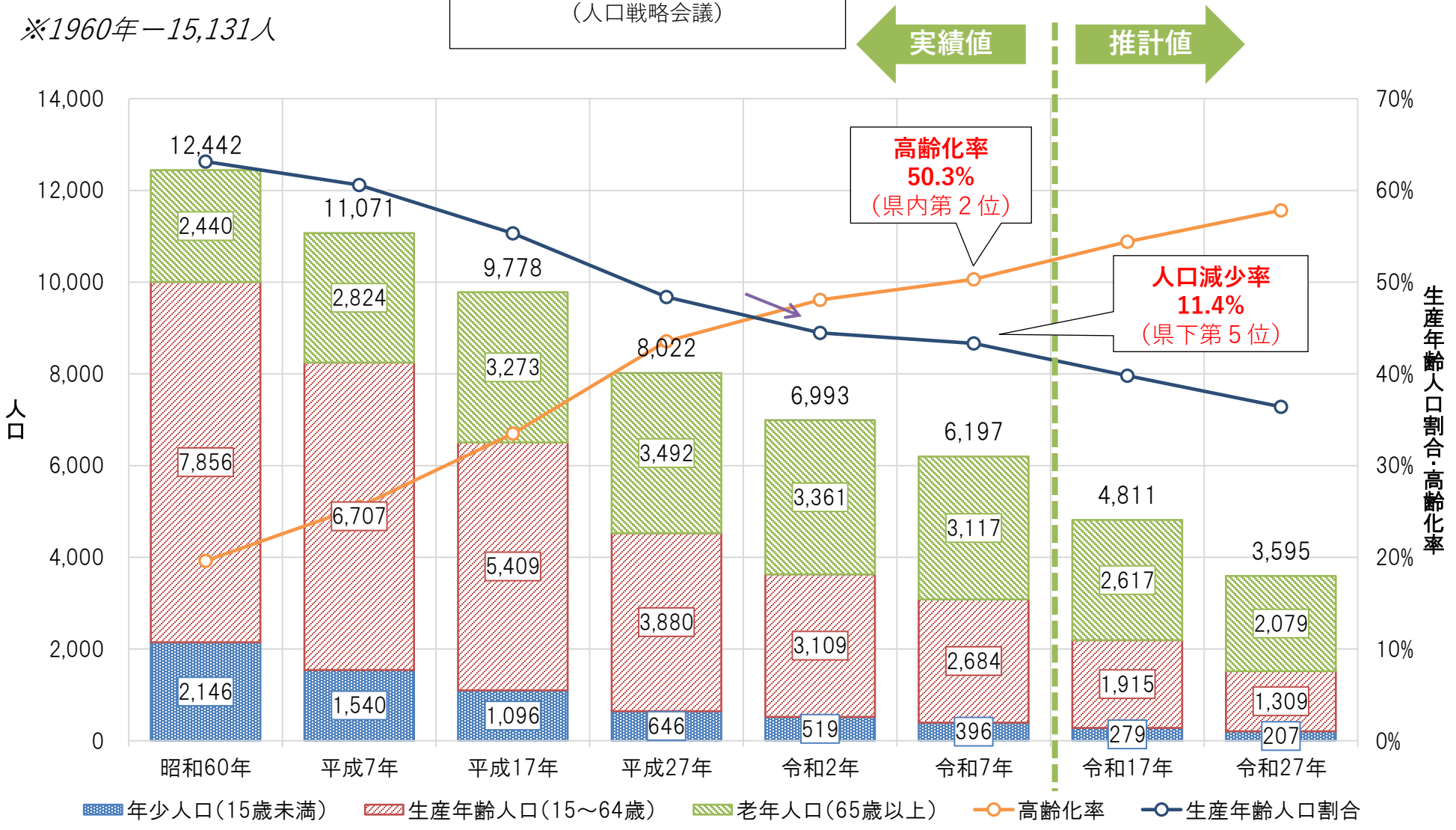
町政報告会

20261102

人口の推移

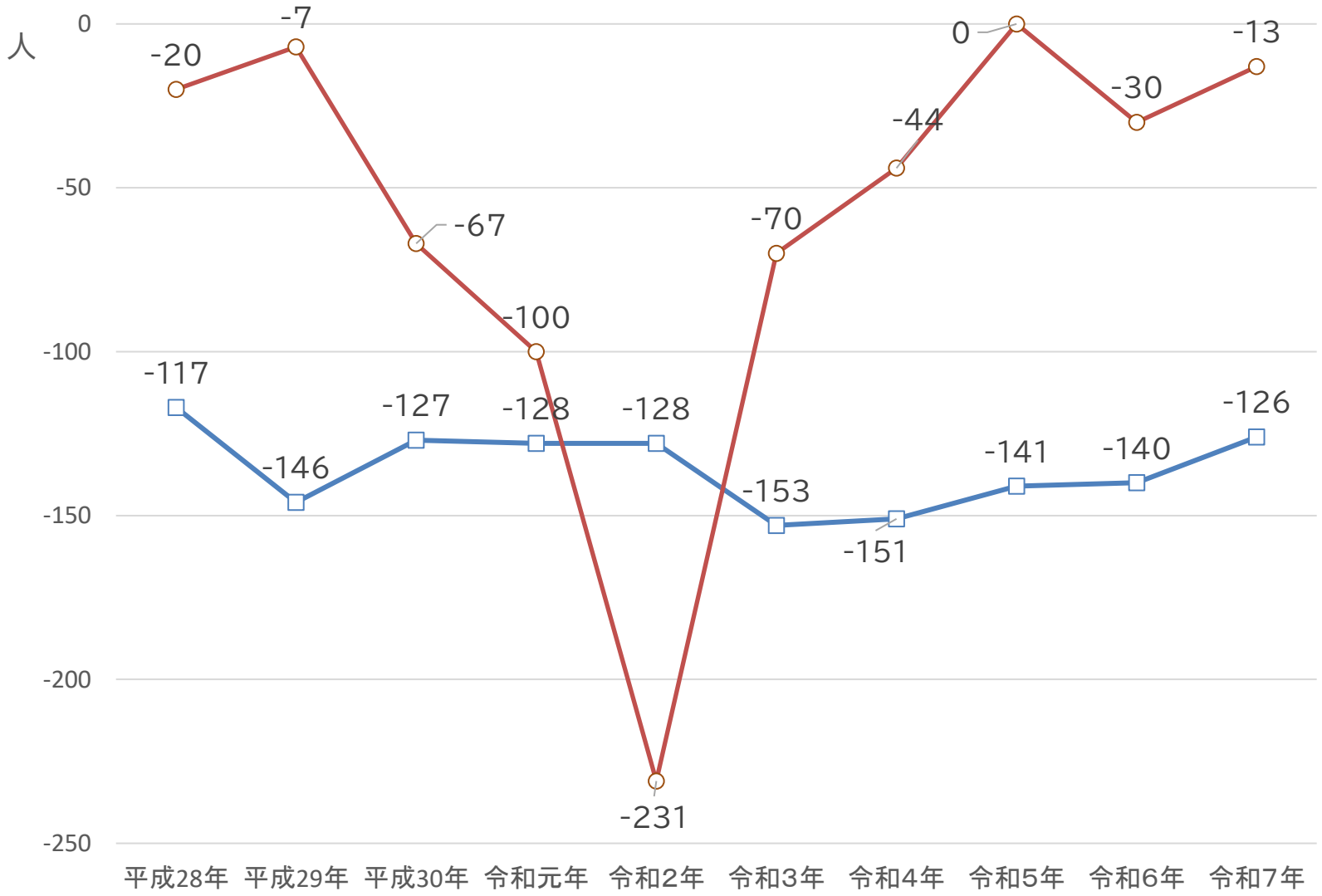
若年女性人口変化率
（2020年→2050年）
△66.1%（401人→136人）
（人口戦略会議）

※1960年－15,131人



（資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5（2023）年推計）」

人口の自然動態及び社会動態



社会動態

居住地の変更を伴う、人口の地域間異動

自然動態

出生及び死亡によって生じる人口の増減や動き

出所：人口動態統計の概況、千葉県毎月常住人口調査報告書（年報）、税務住民課

行政区ごとの人口と高齢化率

令和8年4月1日現在

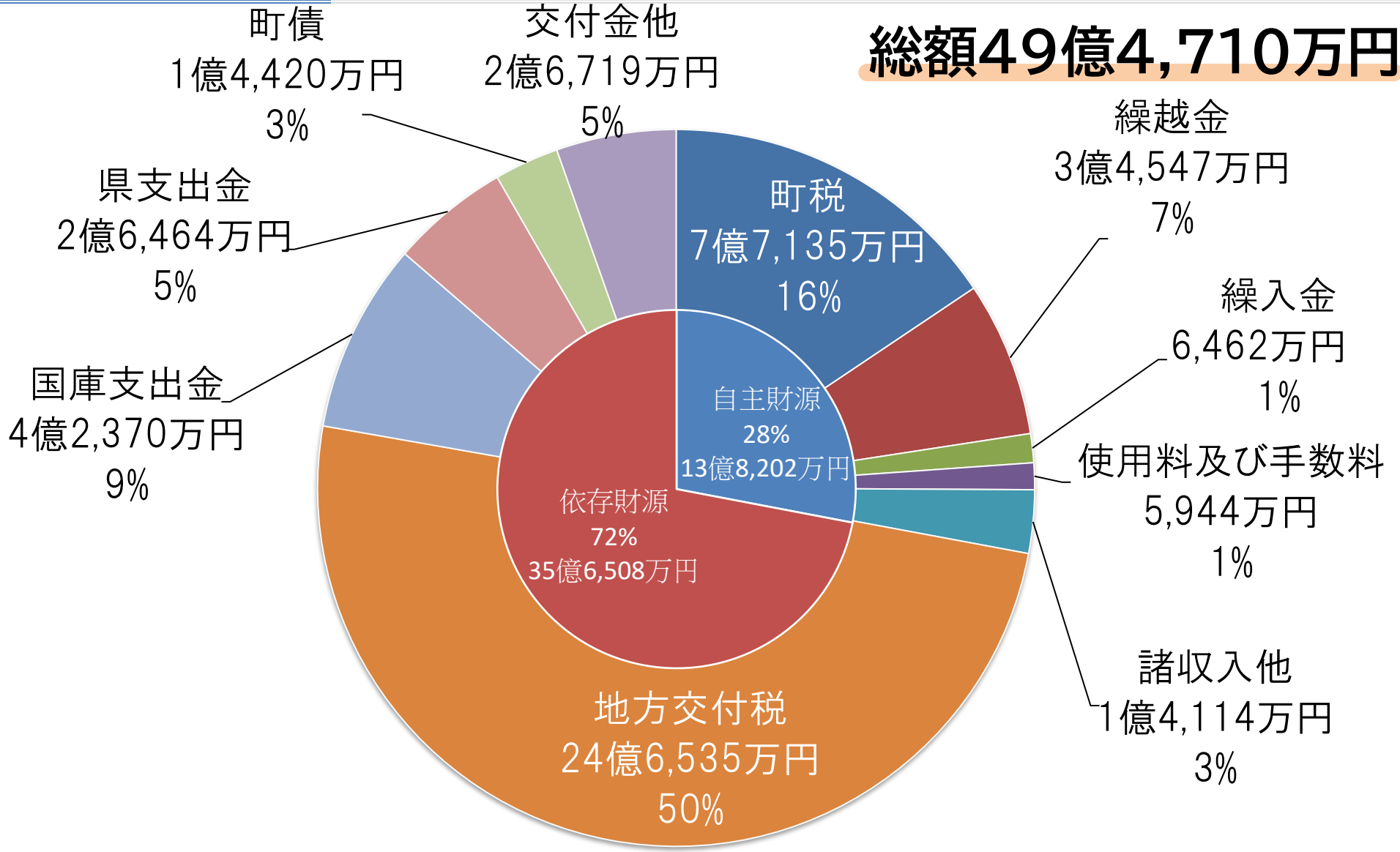
町　内		6,478	50.6%
	区名	人口	高齢化率
1	本郷浜	163	59.5%
2	中道台	285	46.7%
3	芝台	195	43.1%
4	中原	376	52.4%
5	本郷上	137	50.4%
6	大帷子下	251	57.8%
7	大帷子上	97	57.7%
8	元名	384	56.3%
9	江月	44	56.8%
10	吉浜	213	56.8%
11	大六	228	53.1%
12	鋸東	238	58.0%
保田地区		2,611	53.7%

	区名	人口	高齢化率
13	両向	627	35.7%
14	本郷	350	44.9%
15	田町	463	39.3%
16	竜島	962	48.4%
17	町	304	51.6%
18	内宿	138	60.1%
19	仁浜	190	60.0%
20	岩井袋	136	57.4%
勝山地区		3,170	46.1%
21	大崩	70	68.6%
22	奥山	65	63.1%
23	上佐久間	250	58.4%
24	中佐久間	312	57.7%
佐久間地区		697	59.5%

財政の状況について

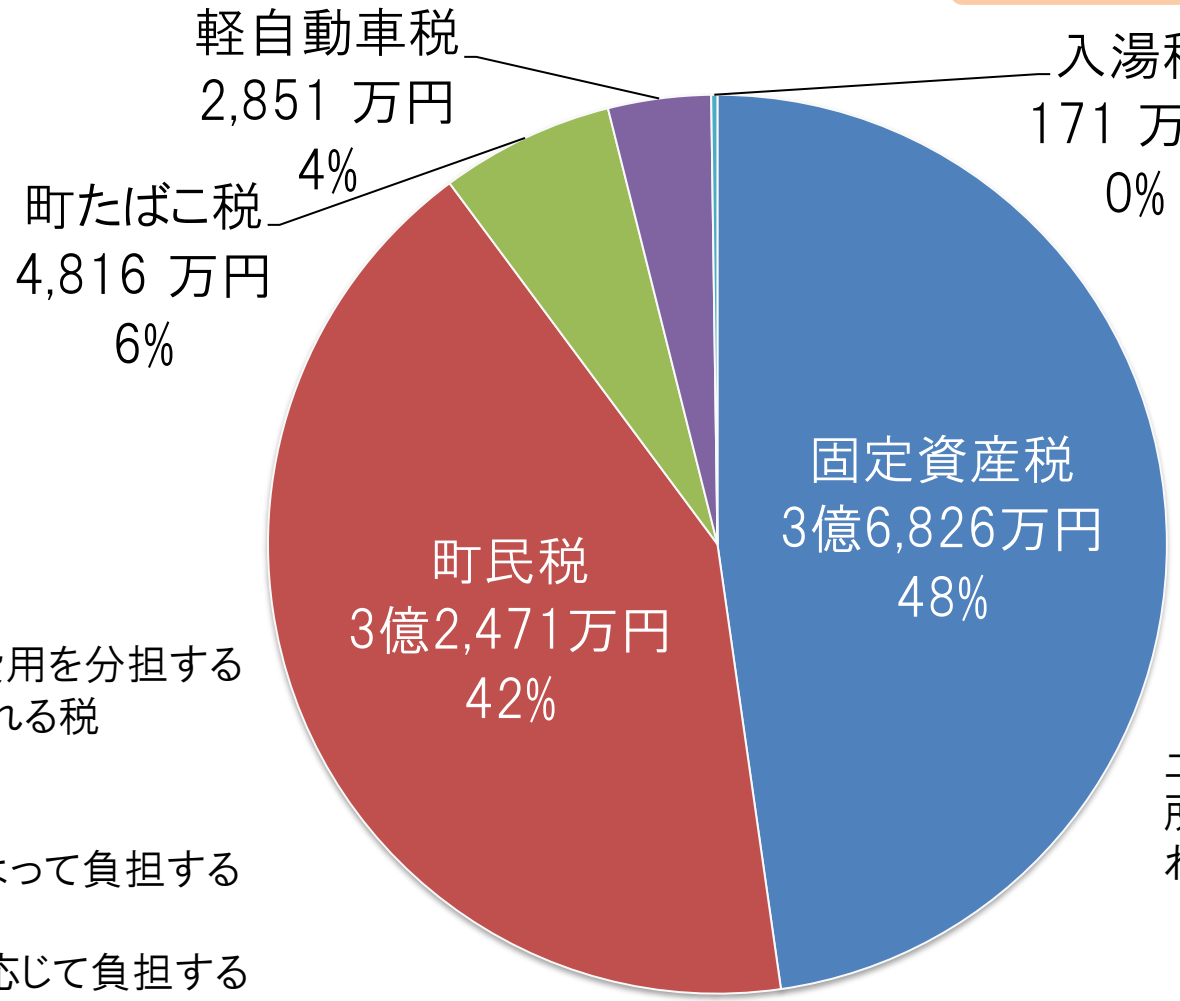
令和7年度一般会計決算　歳入

総額49億4,710万円



令和7年度町税の内訳

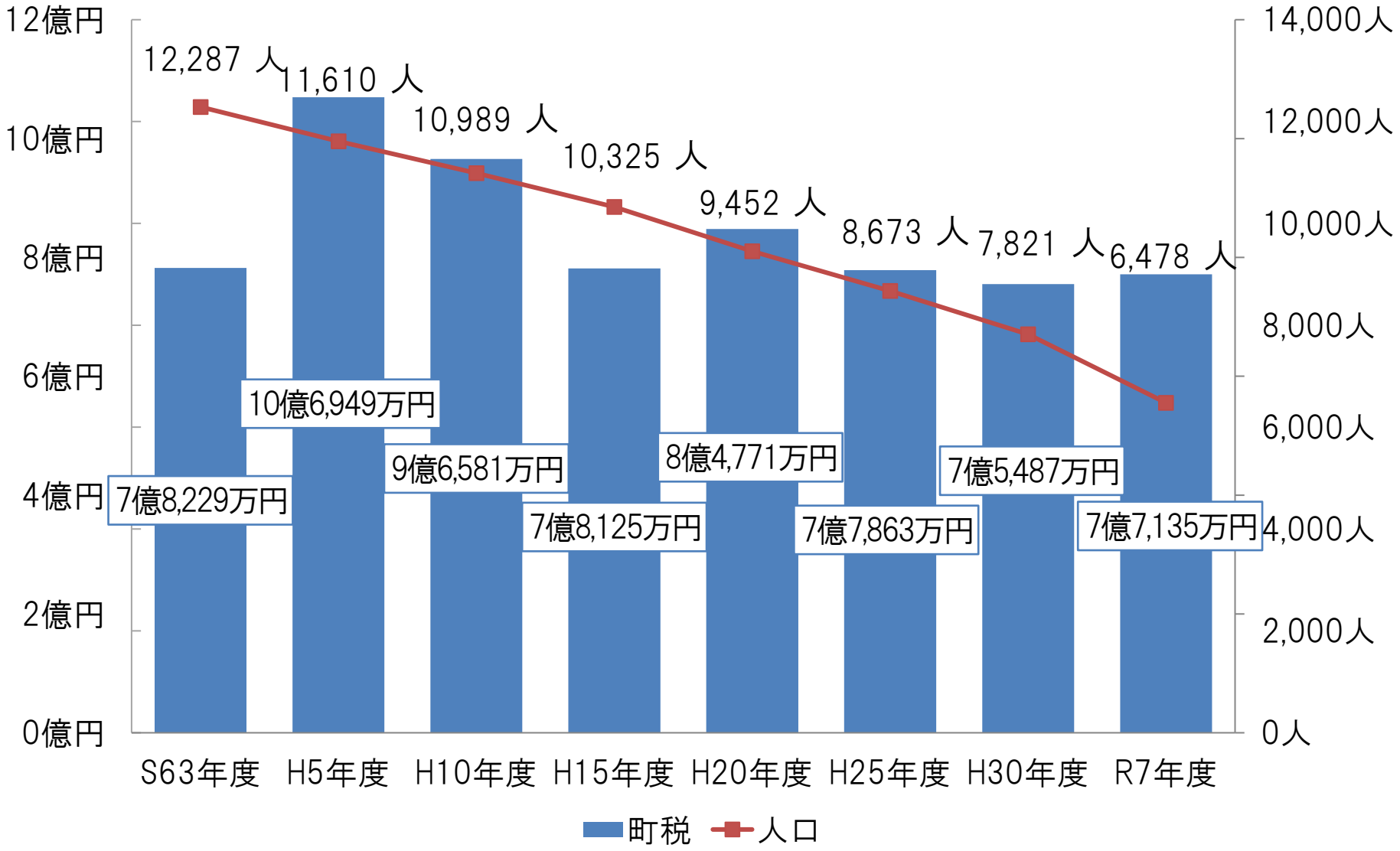
総額7億7,135万円



地域社会の費用を分担するために課せられる税
（個人・法人）
・均等割
　均等の額によって負担する
・所得割
　所得金額に応じて負担する

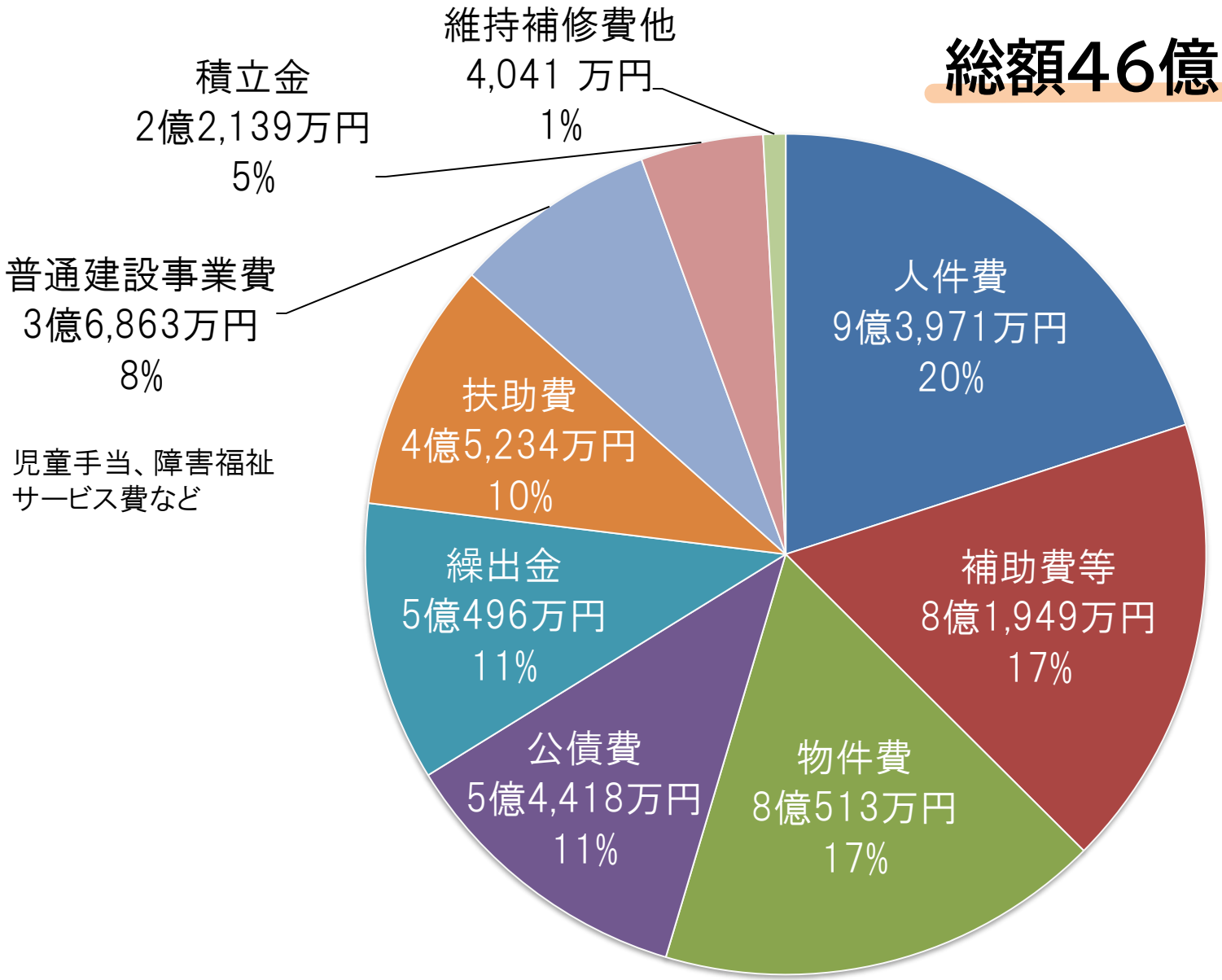
土地・家屋・償却資産などを所有されている方に課せられる税

町税と人口の推移


12億円
10億円
8億円
6億円
4億円
2億円
0億円
14,000人
12,000人
10,000人
8,000人
6,000人
4,000人
2,000人
0人
12,287 人
11,610 人
10,989 人
10,325 人
9,452 人
8,673 人
7,821 人
6,478 人
7億8,229万円
10億6,949万円
9億6,581万円
7億8,125万円
8億4,771万円
7億7,863万円
7億5,487万円
7億7,135万円
S63年度
H5年度
H10年度
H15年度
H20年度
H25年度
H30年度
R7年度
町税
人口

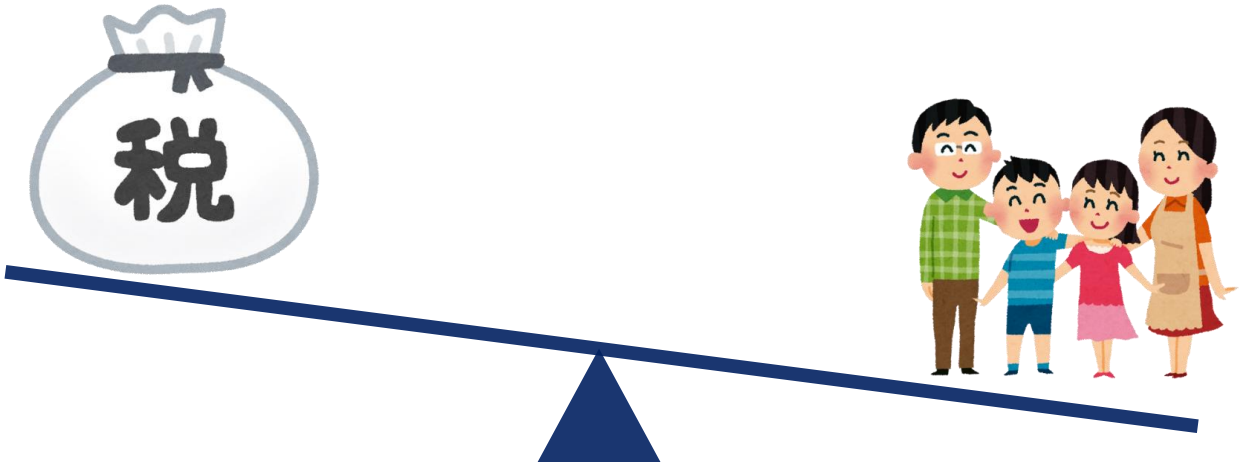
令和7年度一般会計決算　歳出

総額46億9,624万円



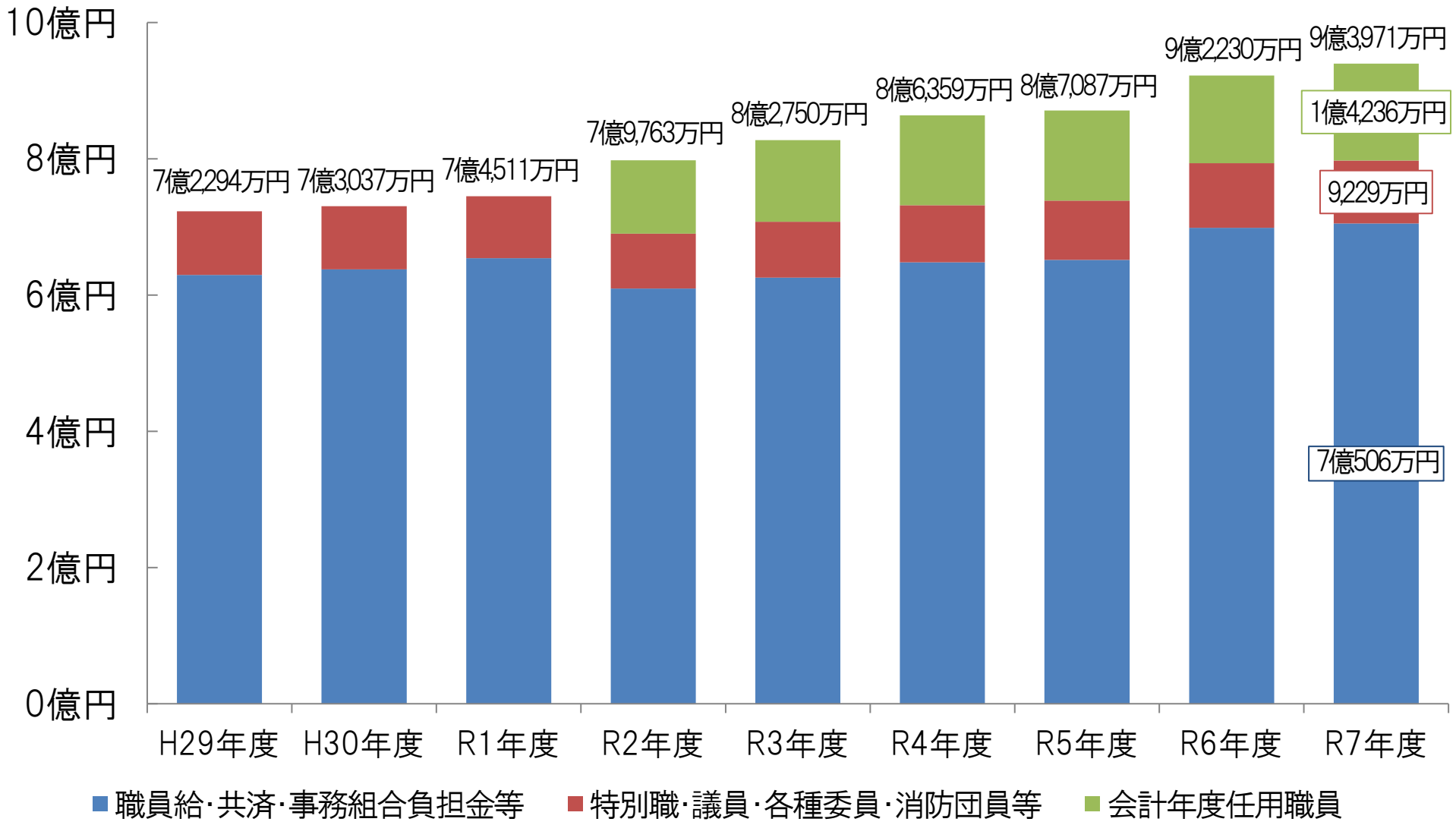
使われたお金と負担額

人口　6,478人　　世帯数　3,391世帯　（令和8年3月31日現在）



	町税の負担額	使われたお金
1人あたり	119,072円	724,952円
1世帯あたり	227,469円	1, 384, 911円

人件費の推移

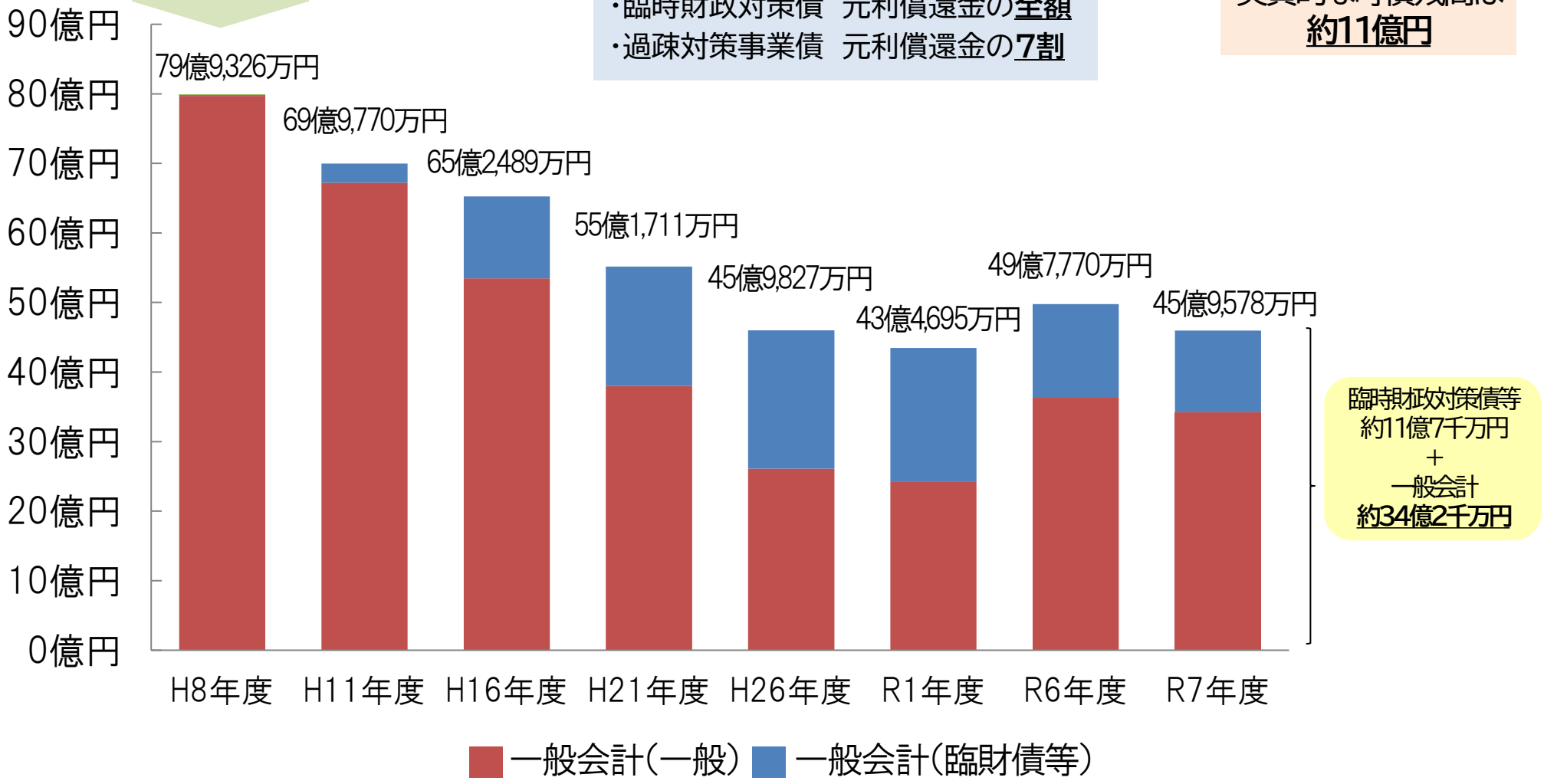

10億円
8億円
6億円
4億円
2億円
0億円
7億2,294万円
7億3,037万円
7億4,511万円
7億9,763万円
8億2,750万円
8億6,359万円
8億7,087万円
9億2,230万円
9億3,971万円
1億4,236万円
9,229万円
7億506万円
H29年度
H30年度
R1年度
R2年度
R3年度
R4年度
R5年度
R6年度
R7年度
職員給･共済･事務組合負担金等
特別職･議員･各種委員･消防団員等
会計年度任用職員

債務残高の推移

過去最大

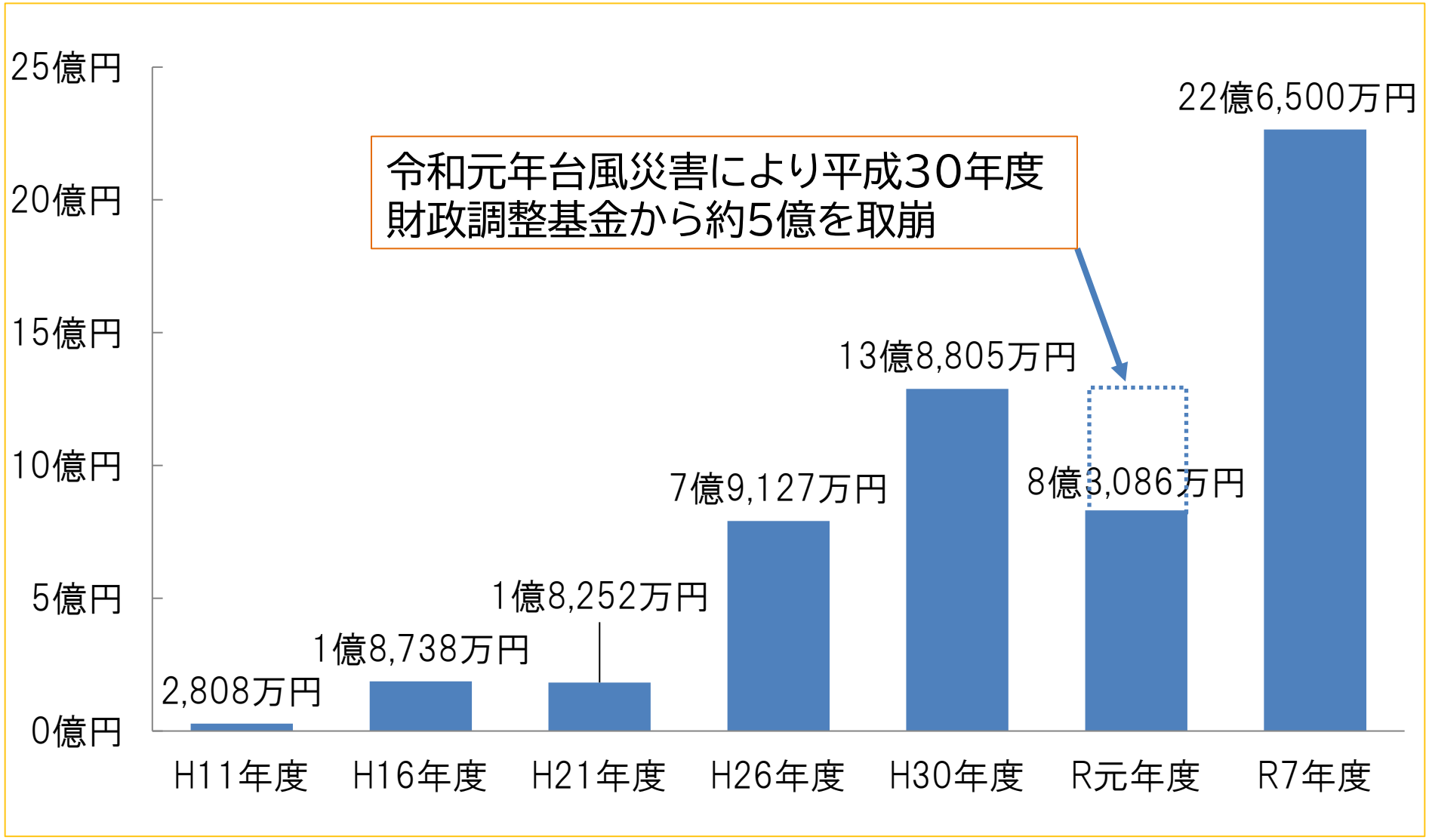
○主な債務の国の財政措置
・臨時財政対策債　元利償還金の**全額**
・過疎対策事業債　元利償還金の**7割**

実質的な町債残高は
約11億円

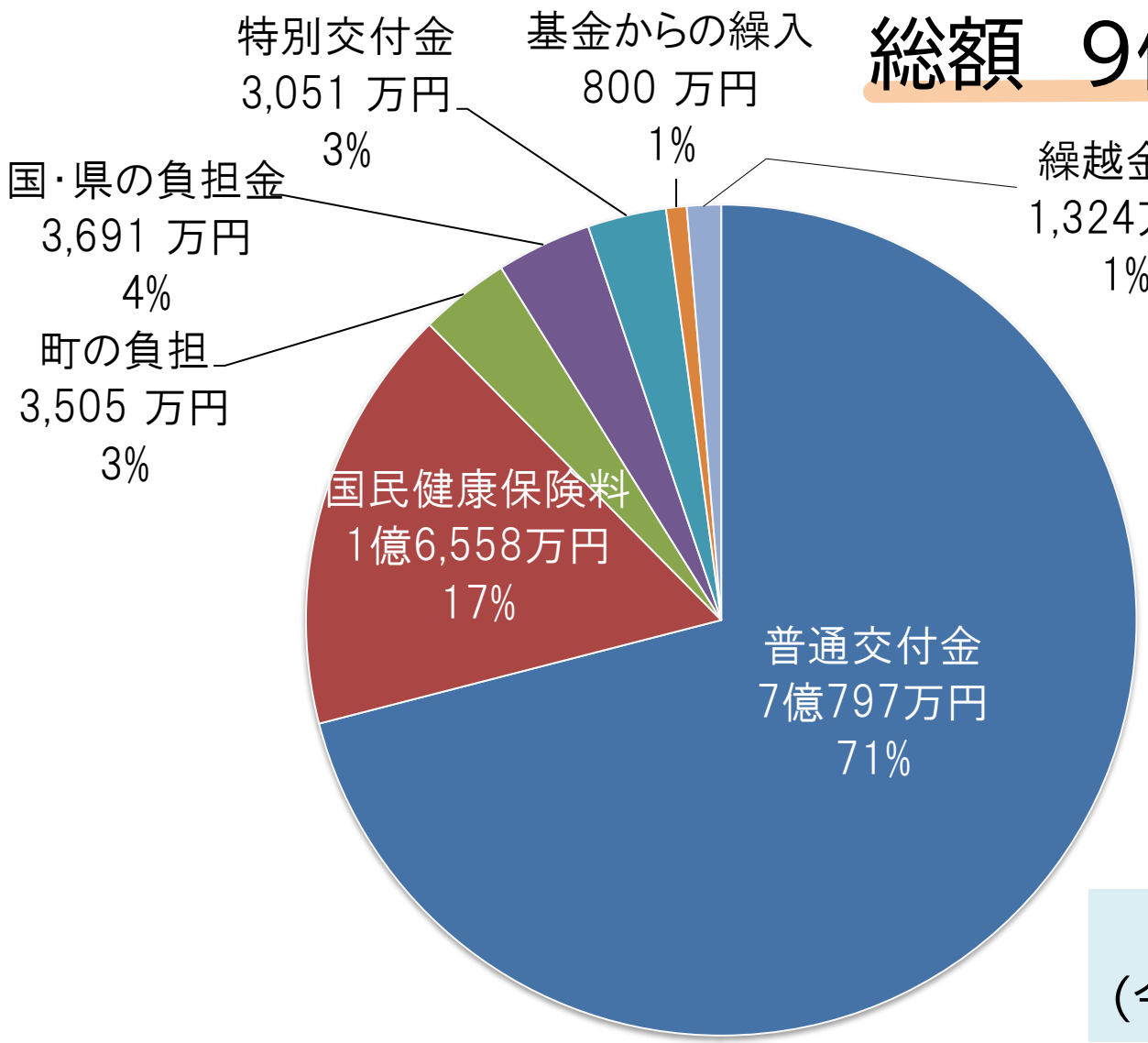


臨時財政対策債等
約11億7千万円
＋
一般会計
約34億2千万円

財政調整基金残高の推移



令和7年度国民健康保険特別会計決算　歳入

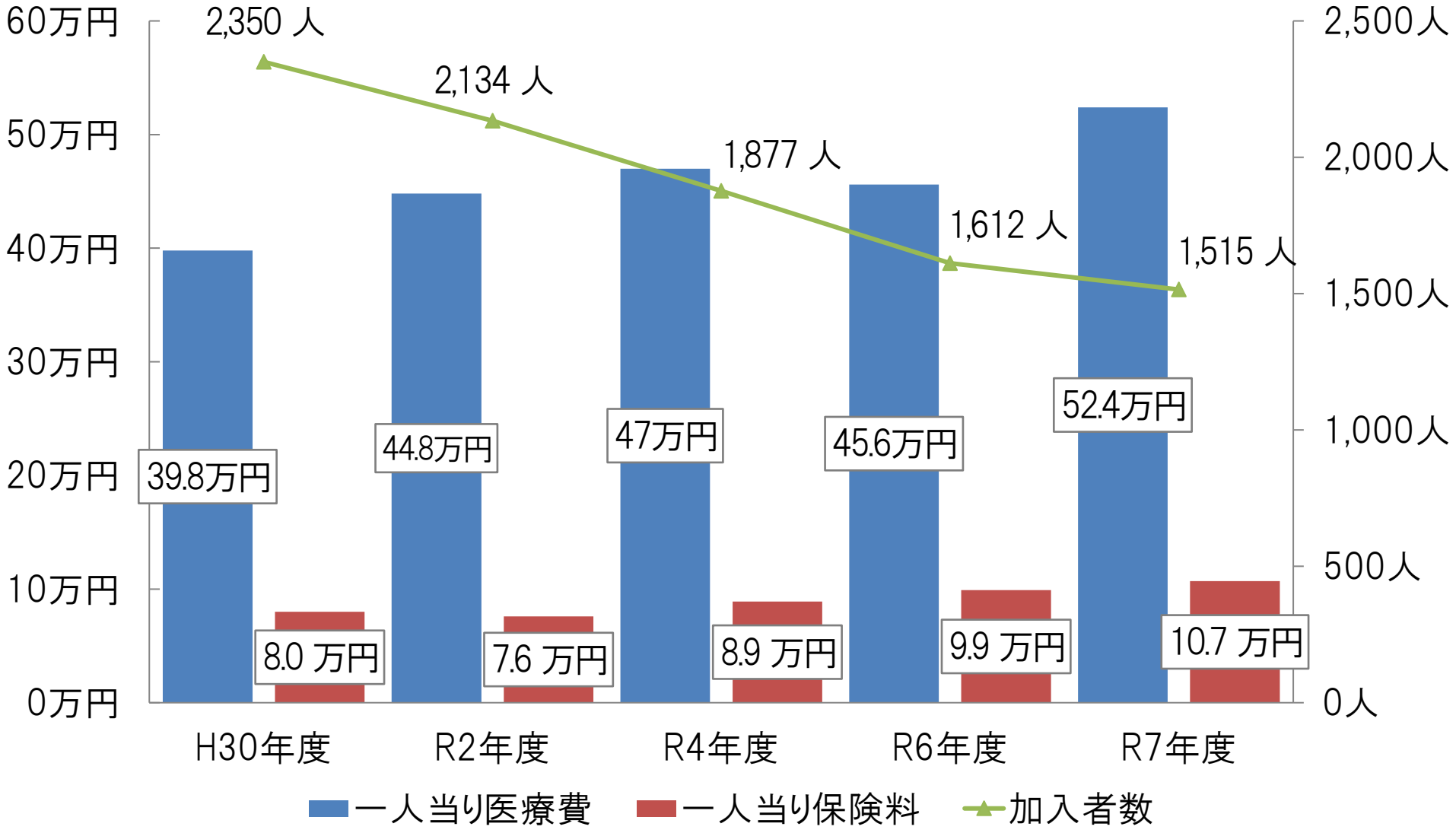


総額　9億9，726万円



加入者数:1，515人
（令和8年3月31日現在）

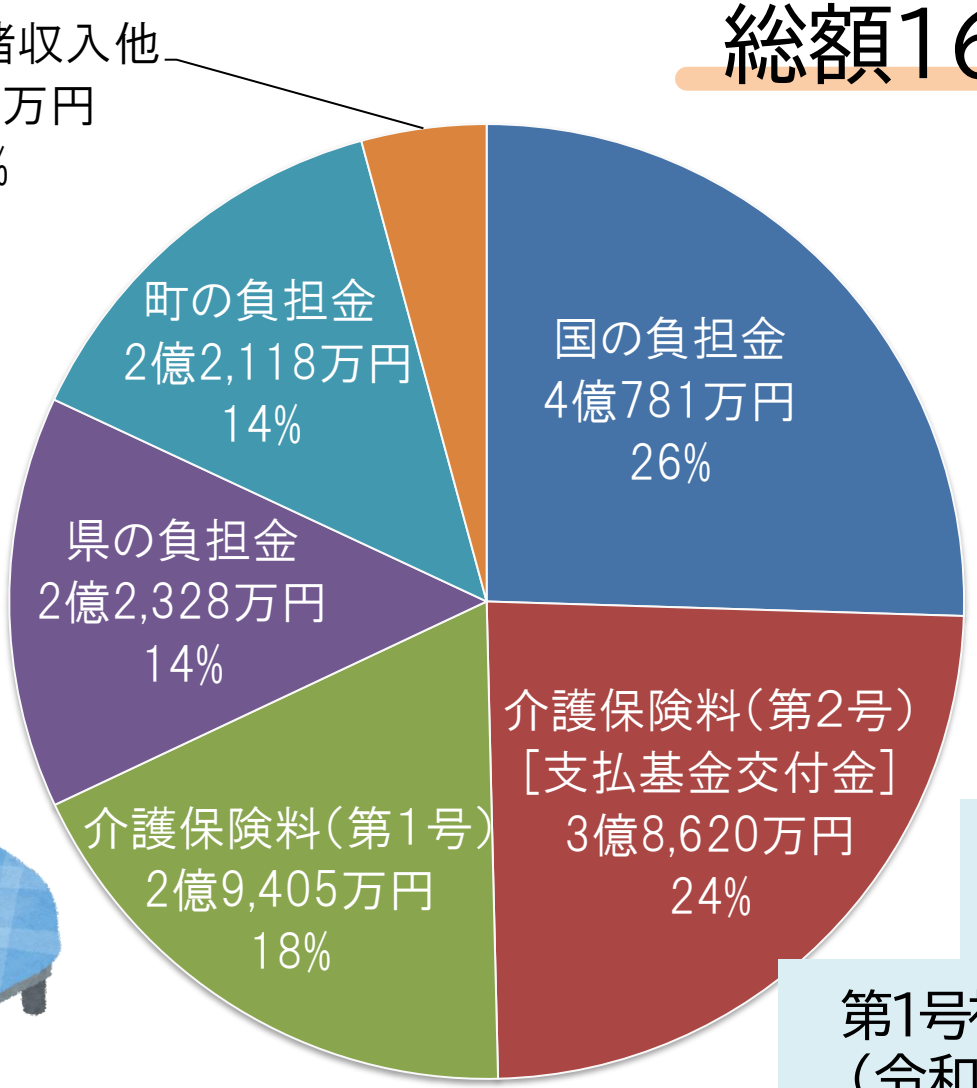
国民健康保険料と医療費の推移



令和7年度介護保険特別会計決算　歳入

総額16億20万円

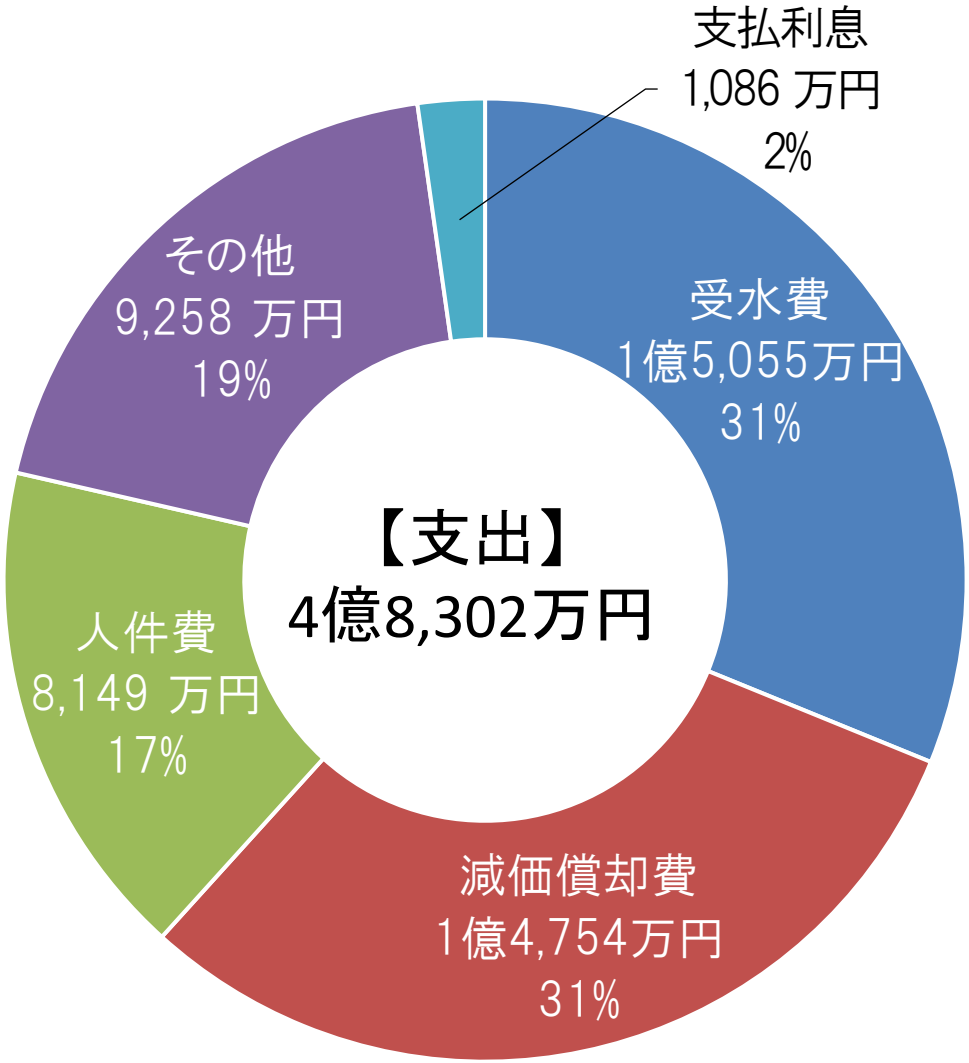




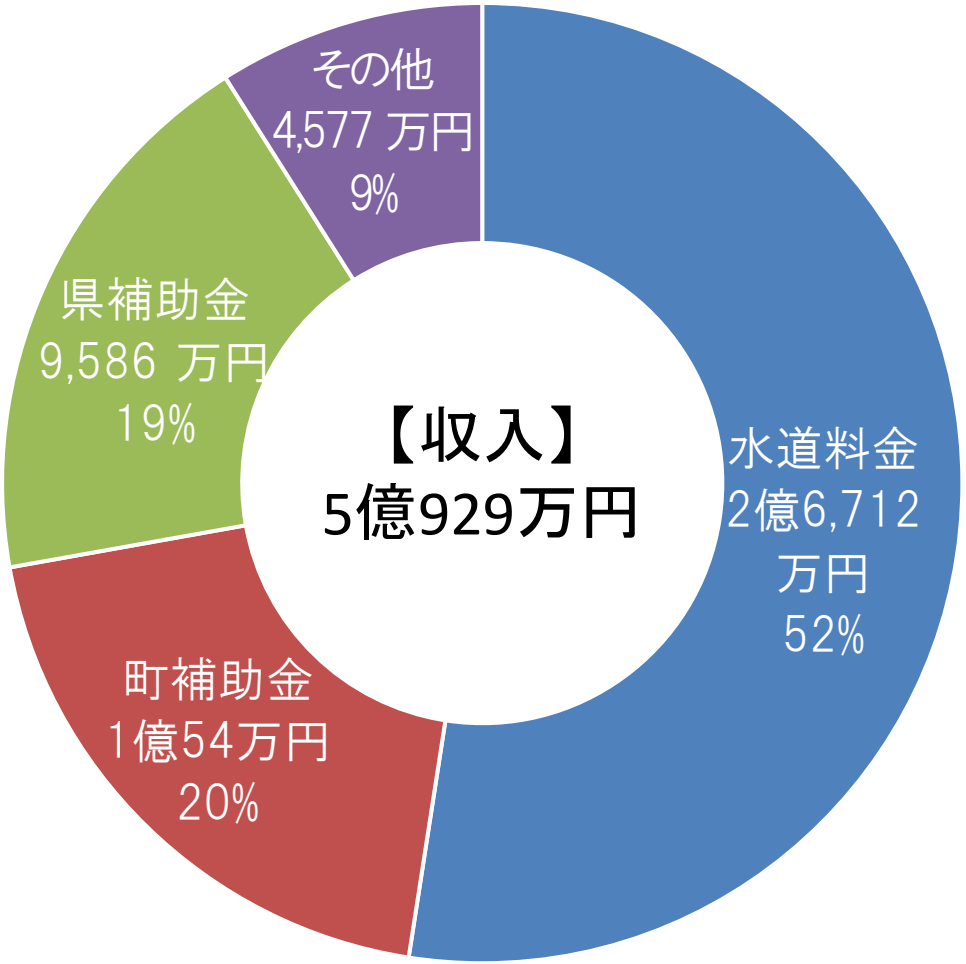
第1号…65歳以上
第2号…40～64歳

第1号被保険者数:3,310人
（令和8年3月31日現在）

令和６年度水道事業会計決算（収益的収支）



給水原価518.05円／㎥



供給単価289.43円／㎥

市町村水道統合事業

用水供給統合事業



未端給水統合事業



安房地域

当面は水道料金の変更は予定していません

まちづくり施策について

鋸南町全図



元名採石場跡地



都市交流施設・道の駅保田小学校



道の駅きょなん



鋸南中学校



佐久間ダム公園



鋸南町役場



鋸南小学校、幼稚園、保育所、学童保育





バーベキューハウス佐久間小学校、笑楽の湯



B＆G海洋センター

老人福祉センター・笑楽の湯



頼朝公の湯

♨利用料金
町内 大人300円 小人150円
町外 大人500円 小人250円
（小学生未満は無料）
貸切風呂　1時間2，500円（要予約）



見返り美人の湯

令和7年度の入浴者数	
町内	5,194人
町外（うち自衛隊1，274人）	20，119人
貸切風呂	1,629人
合計	26，942人



バーベキューハウス佐久間小学校



バーベキューセットは用意済。懐かしい風景の中でバーベキューを楽しみませんか



- 利用料金
  - 小学生以上1人（3時間まで） 300円
  - 超過料金1人（1時間ごと） 100円
  - バーベキューセット（4人用） 2,000円
- 利用時間
  - 午前10時～午後3時00分
  - （土・日・祝）午前10時～午後5時00分
- 休館日
  - 毎週月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

佐久間ダム公園



桜の害虫(クビアカツヤカミキリ)

クビアカツヤカミキリ　体長2.5～4cmで、光沢のある黒色、前胸部が赤い



▲クビアカツヤカミキリ成虫



▲クビアカツヤカミキリの幼虫による被害

写真：日本花の会

都市交流施設・道の駅保田小学校



敷地面積		23,663.00㎡
建築面積		4,244.54㎡
延床面積		4,393.13㎡
駐車場	普通車	188台
	大型車	5台
	合 計	193台

国の財政措置分を除いた実質的な負担額は**約3億2千万円**

事業費（幼稚園）		9億4,217万円
内訳	地方債	8億8,830万円
	その他	397万円
	一般財源	4,990万円

国の財政措置分を除いた実質的な負担額は**約4億9千万円**

事業費（保田小）		12億9,695万円
内訳	国補助金	3億6,568万円
	県補助金	5,984万円
	地方債	5億4,970万円
	一般財源	3億2,173万円

都市交流施設・道の駅保田小学校　実績



「小学校」と名の付く全国初の道の駅として開業



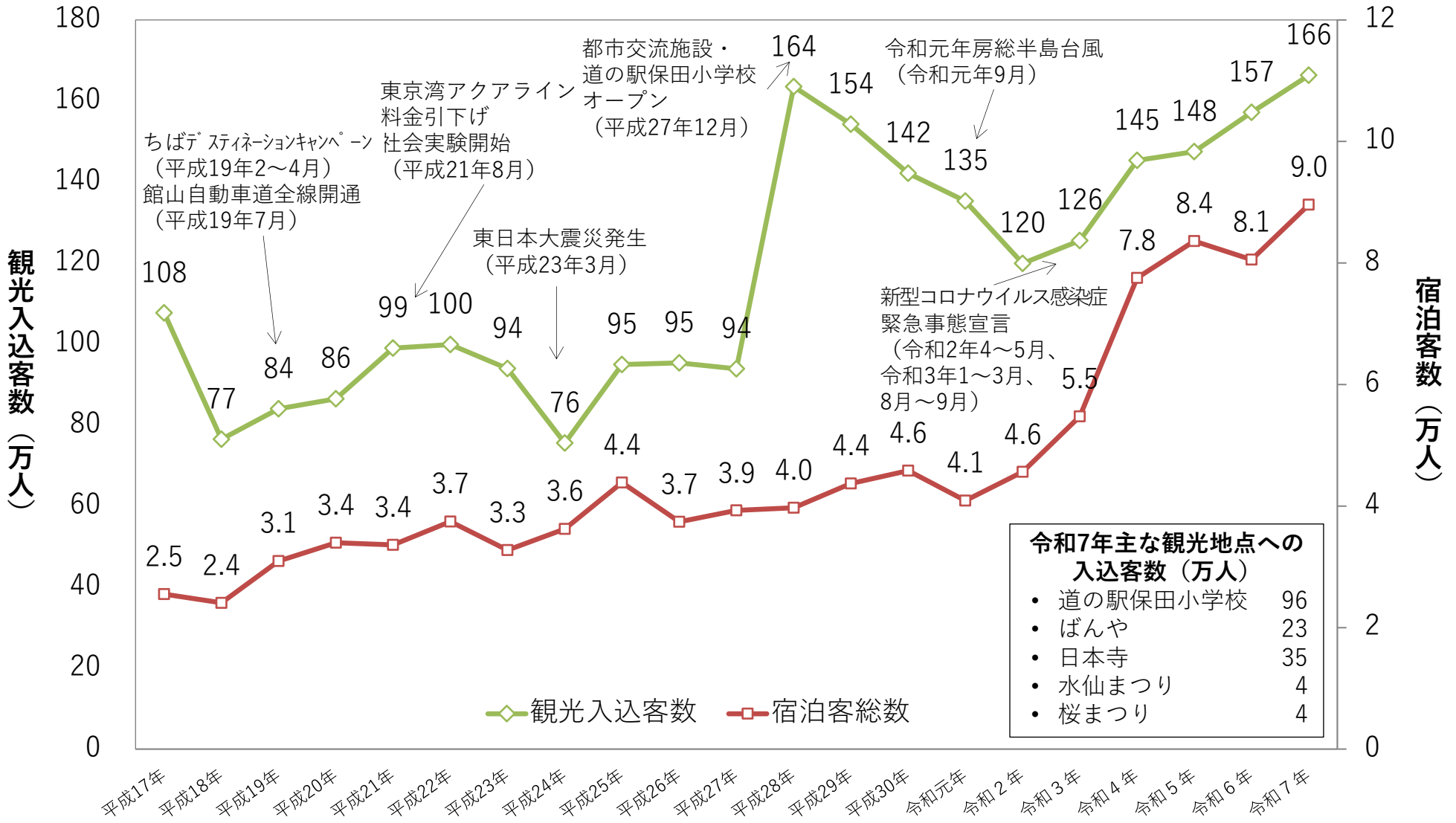
都市交流施設拡張



都市交流施設（幼稚園）遊具設置

	入込客数	売上高
平成27年度		2億2,000万円
平成28年度	61万人	6億1,400万円
平成29年度	58万人	5億9,900万円
平成30年度	58万人	6億2,300万円
令和元年度	59万人	4億5,500万円
令和2年度	56万人	4億5,400万円
令和3年度	65万人	5億6500万円
令和4年度	78万人	7億3,400万円
令和5年度	79万人	7億2,000万円
令和6年度	91万人	10億400万円
令和7年度	96万人	10億400万円
合　計	701万人	68億9,200万円

観光入込客数・宿泊客数の推移



道の駅きょなん・観光物産センター

既存外壁の撤去、施設前面にパーゴラ及びデッキを新設して、令和8年2月にリニューアル・オープン





事業費		6,242万円
内訳	地方債	5,350万円
	その他	40万円
	一般財源	852万円
昭和60年からの使用料		7,568万円

元名採石場跡地

使用料	
業としての写真、コマーシャル、映画等の撮影	
興行	1日 10万円以内
競技会、展示会、集会その他これらに類する催し	
学術的調査	1日 1人500円
その他前各号に準ずる行為	1日 10万円以内

年度	使用料
平成30年度	240万円
令和元年度	570万円
令和2年度	420万円
令和3年度	790万円
令和4年度	630万円
令和5年度	875万円
令和6年度	754万円
令和7年度	1,009万円
合計	5,288万円

WOWOWドラマ
「北方謙三　水滸伝」

安房郡鋸南町元名字高塚地先
平成30年7月購入
・取得金額　1億1，002万円(登記費用含む)
・面積　281，818㎡(約28町歩)

空き町有地の活用







地域おこし協力隊の活動



楠木　かおりさん
広報・広聴



坪木　舞衣さん
農業振興



塩崎　雄士郎さん
移住定住対策

現在、7名の隊員が活動中！



静　慎太郎さん
有害鳥獣対策



鏡　沙織さん
有害鳥獣対策



若見　悠太さん
有害鳥獣対策



渡邊　剛さん
有害鳥獣対策

外部人材の活用

地域活性化起業人

ナイトタイムエコノミー（夜間の観光や飲食などの経済活動）の推進や閑散期の宿泊客の増加を目指し、新たな観光施策の立案に取り組む。



「心躍る」を解き放つ HIS　辻　正寿氏

委嘱期間：令和9年3月31日まで
（最長3年間延長可）

地域力創造アドバイザー

町内農林水産物を使用した料理や加工食品などの特産品開発や循環まちづくりに取り組む。



本田屋本店有限会社
代表取締役　本田　勝之助氏

委嘱期間：令和9年3月31日まで

まちづくり支援事業補助金

令和7年度交付団体

	チーム香具山	鋸南町まちかど図書館	鋸南里山保存会
事業目的	竹細工・竹炭・メンマなどの竹製品の開発及び普及に取り組む。	本を通じて人と人、人と場をつなぎ、ちょっとした居場所を作る。	江月のかつての主力産業であった炭焼き小屋を新設する。
活動内容			
			

コミュニティ育成事業

コミュニティ集会等施設整備や地域文化への支援等、地域コミュニティ活動の充実・強化のため補助金を交付。

対象事業		限度額	財源
コミュニティ集会等施設整備	新築又は改築	350万円	一般財源
	改修又は修繕	150万円	
	エアコンディショナー設置	25万円	
その他	祭礼屋台修繕等	250万円	特定財源

大門東班屋台



中佐久間区エアコン



上佐久間区外壁塗装



定住促進に向けた助成施策

移住支援金



東京23区内等から中小企業等へ就業する方やテレワークで移住前の業務を継続する方、社会的起業をする移住者を支援。

・交付額　世帯100万円
　　単身60万円

奨学生ふるさと定住促進補助金

町内在住で奨学金の返還をしている方に返還金の一部を助成。

・上限額　10万円



通勤・通学支援助成金

公共交通機関を利用して遠距離通勤・通学をする方を支援。

・助成額　年10万円



遠距離通勤・通学の後
押しとなっています

結婚新生活支援補助金

婚姻に伴う住宅の購入費用やアパートの賃料、引越費用を支援

・最大　60万円
　※所得要件あり



住宅関連補助制度

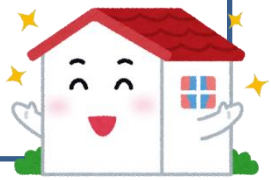
住宅取得奨励金

- 町内に定住する意思をもって新築住宅や中古住宅を取得する方に、奨励金を交付
  - 交付金額　新築住宅 上限400万円
    中古住宅 上限200万円



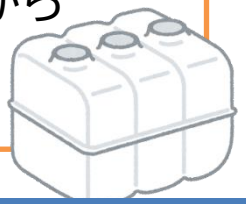
住宅リフォーム補助金

- 町内の事業者を利用して住宅をリフォームする場合に費用の一部を補助
  - 補助率　工事費の10分の1
  - 補助上限額　20万円



合併浄化槽設置整備事業補助金

- 浄化槽の設置に要する経費の一部を助成
  - 補助金額　24万円
    （※汲取り式又は単独浄化槽からの更新は6万円を追加補助）



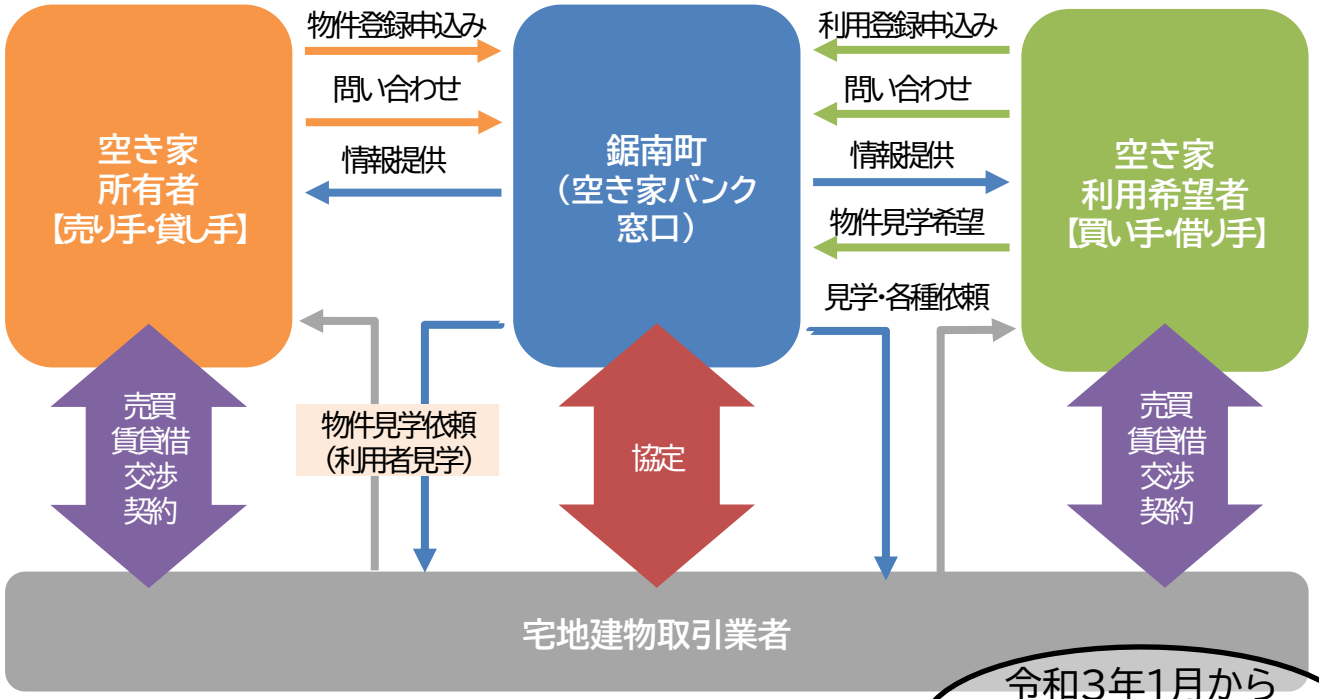
住宅用設備等脱炭素化促進事業補助金

- 家庭における地球温暖化対策の推進・電力の強靭化を図る設備の設置に要する経費の一部を補助
  - 補助金額　ｴﾈﾌｧｰﾑ 10万円
    ﾘﾁｳﾑｲｵﾝ蓄電ｼｽﾃﾑ 7万円
    電気自動車(EV,PHV)10万円又は15万円
    V2H充放電設備 25万円



空き家情報登録制度「空き家バンク」

- 空き家の有効活用を通して、移住・定住促進による地域の活性化を図る
- 空き家を「鋸南町空き家バンク」に登録、利用希望者にその情報を提供
- 空き家所有者と利用希望者の仲介・契約等の手続きは町と協定を締結した宅建業者が行う



鋸南町空き家バンク
http://www.akiya-navi.com/kyonan_akiya_bank/

登録・成約実績

年度	登録	成約
平成27年度	1	
平成28年度	3	1
平成29年度	2	1
平成30年度	3	2
令和元年度	9	6
令和2年度	9	10
令和3年度	7	7
令和4年度	8	7
令和5年度	15	7
令和6年度	4	5
令和7年度	7	7
合計	68	53

子育て支援施策について

教育環境の充実

給食の無償化事業

保育所から中学生までの給食費を無償化。



令和6年度から実施

英語検定等補助金

小中学校の児童、生徒を対象に、学力向上を目的に、英語、漢字、数学検定の合格者に受験料の1／2を助成。

補助実績

年度	生徒数
令和6年度	19件
令和7年度	23件



国産木材遊具等購入事業

森林環境譲与税基金
を活用

ちびっこひろば



設置前



設置イメージ





子育て広場

中学校、中央公民館トイレ改修事業

中学校トイレ改修工事（令和6年度）

総事業費		1億2040万円
財源内訳	国庫補助金	3,141万円
	地方債	8,210万円
	一般財源	689万円

改修前



改修後



中央公民館トイレ改修工事（令和6年度）

総事業費		5,475万円
財源内訳	地方債	5,120万円
	一般財源	355万円

改修前



改修後



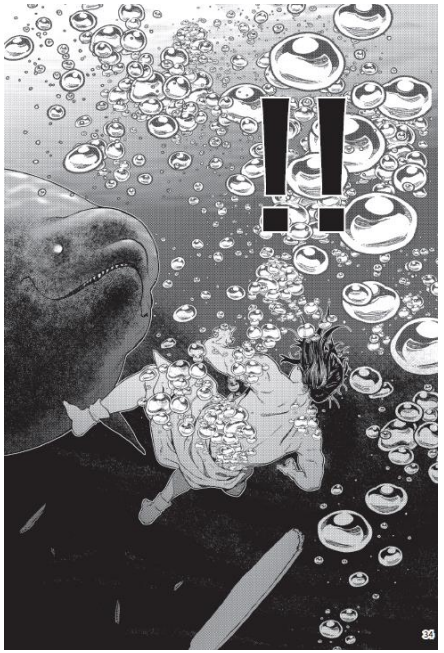
ふるさとゆかりの偉人マンガ制作事業

Ｂ＆G財団の助成事業を活用し、ふるさとゆかりの偉人マンガ「房総の捕鯨の祖「醍醐新兵衛」」を作成し、児童生徒へ配布。授業などを通して「ふるさと教育を推進」。



事業費　299万円（令和5年度）
※財源はすべてＢ＆G財団補助事業







保健・医療・福祉施策について

健康増進に向けた取組み

健康づくり推進員協議会

町民の健康増進を図るため、健康づくりに向けた普及啓発活動





健康大喜利@ボランティアのつどい



ボッチャ体験会@すこやか



虫歯予防人形劇@幼稚園



ぼたん汁づくり@ジビエイベント





太巻き寿司@BG塾

介護予防の取組







理学療法士による
リハビリテーション実施！

鋸南見返り健康ポイント事業



健康ポイントの始め方

STEP1　ポイントシートをもらおう！

すこやか、役場1階、町が主催する健診会場等で配布しています。

STEP2　ポイントを集めよう！

対象となる項目に取り組み、ポイントを集めます。

STEP3　特典を受け取ろう！

ポイントを3つ以上集めシートを提出すると参加賞や抽選で景品を受け取れます。

対象となる取り組み

1. 健(検)診の受診(必須)
2. 予防接種、ジェネリック医療品の使用
3. 健康づくりイベントやボランティアへの参加
4. 健(検)診結果の維持、改善

特　典

参加賞

指定ごみ袋、道の駅保田小直売所出荷組合産品購入補助券など

景品(2,000円相当)

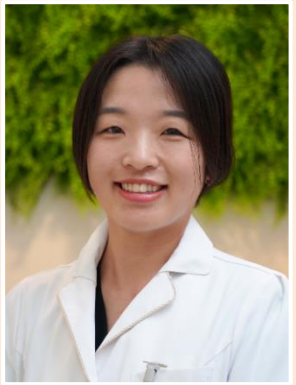
抽選で5人にプレゼント

鋸南町国民健康保険鋸南病院

常勤医師



山本　大夢
担当:内科

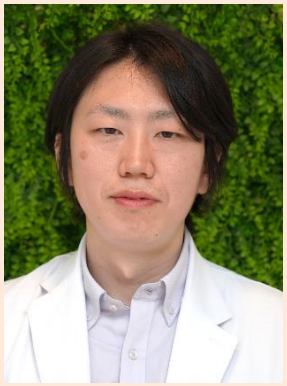


重栖　友美恵
担当:内科

非常勤医師



後藤　茂正
担当:内科



新沢　知広
担当:眼科



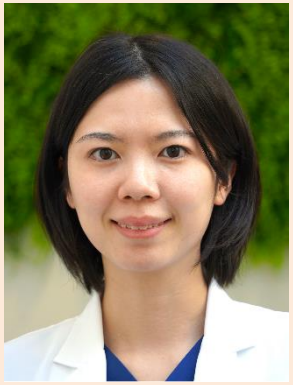
武内　重樹
担当:整形外科



池田　里加
担当:外科



滝口　明子
担当:糖尿病



王　莉莉
担当:糖尿病



石橋　亮一
担当:糖尿病



林　佐保
担当:糖尿病

子ども医療費助成事業

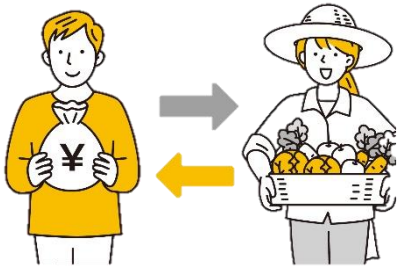


対象者	0歳から高校3年生相当年齢	
助成医療費	健康保険証が適用となる医療費	
自己負担額	入院	無　料
	通院	
	調剤	

産業振興施策について

豊かなまちづくり寄付金（ふるさと納税）

町を応援してくださる方から寄付金を募り、その意思を具体化することで多様な人々の参加によるまちづくりに取り組んでいます。



寄付実績

年度	件数	金額
令和4年度	923件	2,127万円
令和5年度	1,501件	4,154万円
令和6年度	1,938件	5,144万円
令和7年度	998件	4,476万円

活用事業





ふるさと納税の返礼品


KYONAN BEER
White Ale Narcisse
Golden Ale
American Pale Ale
Tokyo Bay Porter






新米
粒すけ








SWEETBIWA
房州びわ
房州枇杷組合連合会



鋸山・日本遺産候補地域活用推進事業



≪主な事業内容≫

・地域プロデューサーの確保・育成
・小中学校での鋸山教室の開催
・有償ガイド育成
・構成文化財の普及啓発
・体験プログラム構築　他





有害獣捕獲数の推移

	イノシシ	シカ	サル	キョン	ハクビシン	アライグマ	計
令和4年度	621	677	79	272	28	43	1,720
令和5年度	1,252	886	100	398	33	94	2,763
令和6年度	781	691	98	367	44	57	2,038
令和7年度	991	831	67	420	37	82	2,428
計	3,645	3,085	344	1,457	142	276	8,949





平成26年9月「鳥獣被害対策実施隊」を設置、銃器による一斉捕獲を実施

地すべり米



道の駅保田小学校で6名の農家が販売中



鋸南町に住所を有する農業者が地すべり防止区域内のほ場で生産したコシヒカリ、**粒すけ**及び糯(もち)品種

保田漁港水産物供給基盤機能保全事業



改修前





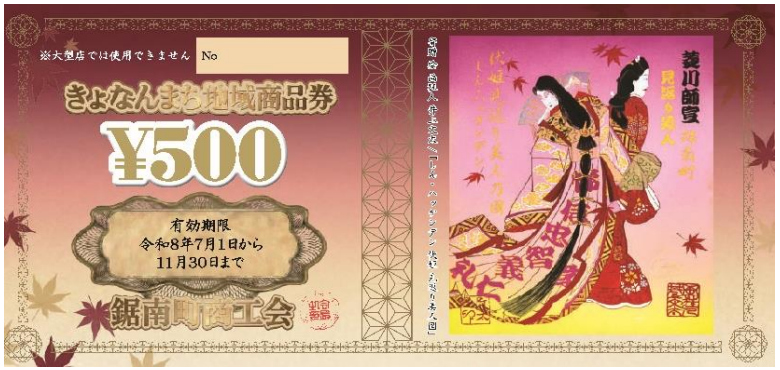
改修後



水産物供給基盤機能保全事業（保田漁港）

きょなんまち地域商品券

令和8年度は、町民全員に町内で使用できる2万円分の商品券を配布





使用期間は、11月30日まで！

配布年度	配布総額	1人あたり
令和2年度～ 令和8年度	3億5,500万円	7万1千円分



生活環境・防災施策について

地域公共交通計画

令和7年度に本町における地域公共交通の課題の整理や基本方針、地域公共交通に関する施策、実施主体について検討し、本町の地域公共交通施策のマスタープランとなる「鋸南町地域公共交通計画」を策定しました。



令和8年3月に策定

計画の目標

①町内の移動しやすさの向上
②町外への移動しやすさの向上
③利用しやすい地域公共交通環境の整備
④地域全体で支える公共交通網の構築



高速バス 「アクシー号」が乗入開始

令和8年5月16日(土)
道の駅保田小学校に往復計8便が乗入開始



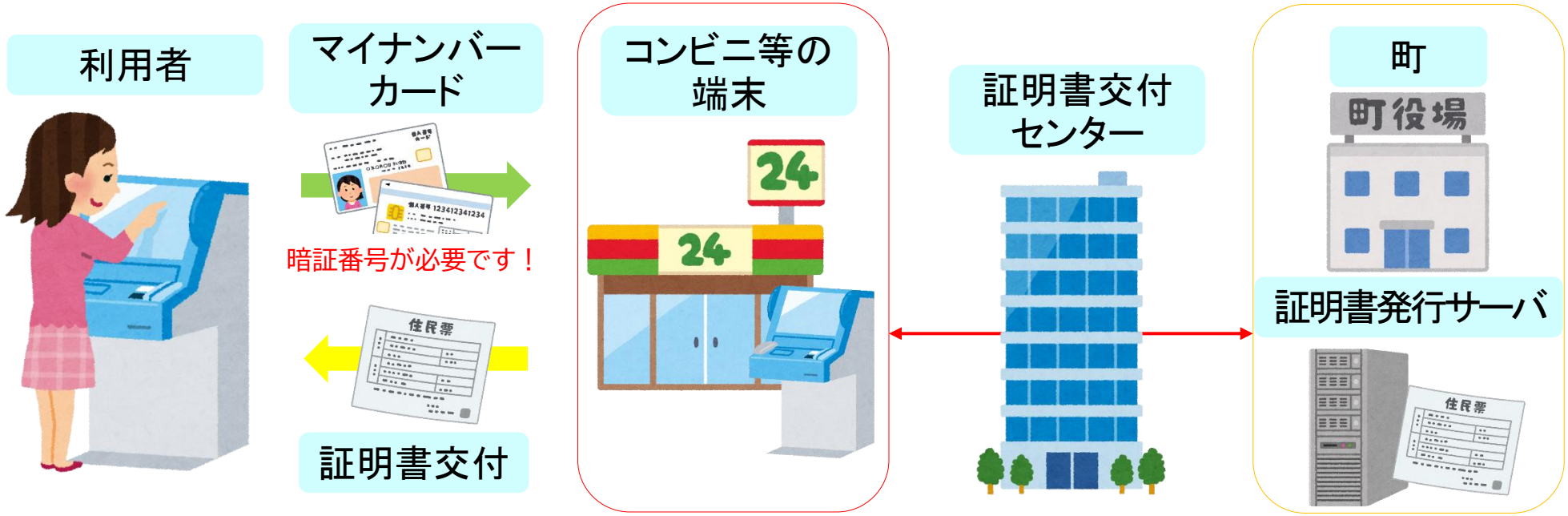
道の駅保田小学校から
東京駅まで80分



コンビニ交付サービスの開始に向けて

令和8年度運用に向けて準備中

マイナンバーカードを使って、全国のコンビニで住民票などの証明書が取得できるよう、令和8年度中に体制構築を進めています。



取得できる証明書

・住民票の写し
・印鑑登録証明書
・所得証明書

いつでも	6時30分から23時まで土日祝日も対応
どこでも	全国の約56,000店舗で交付を受けられる

事業費		515万円
内訳	国補助金	234万円
	一般財源	281万円
運用費(年間)		320万円

トンネル・橋梁の老朽化対策

令和6年度橋梁更新工事（市井原・西ノ下橋）



改修前



改修後





令和6年度橋梁補修工事（大帷子上・中橋）

国道127号勝山橋歩道整備事業

国道127号を通行する歩行者や自転車の安全確保のため、国土交通省千葉国道事務所との協力により、令和8年3月に勝山橋歩道橋に繋がる歩道の整備を行いました。

整　備　前



整　備　後



鱚ヶ浦海岸の柵、ベンチ、サイクルラック整備

国土交通省の事業として、鱚ヶ浦海岸へ富士山への眺望を楽しむことができるベンチ・サイクルラック、柵、を整備。



転落防止柵と休憩施設



サイクルラック

し尿処理センター整備事業

し尿や浄化槽汚泥の処理施設を南房総市と共同で整備し、運営を行っています。

施　設　概　要

・施設名称
　南房総市水処理センター
・施設建設期間
　令和4年3月～令和5年12月
・操業開始
　令和6年1月
・事業場所
　南房総市御庄地先(旧三芳村)
・事業費
　約26億円(建設費)
・町負担額
　約3億6,000万円



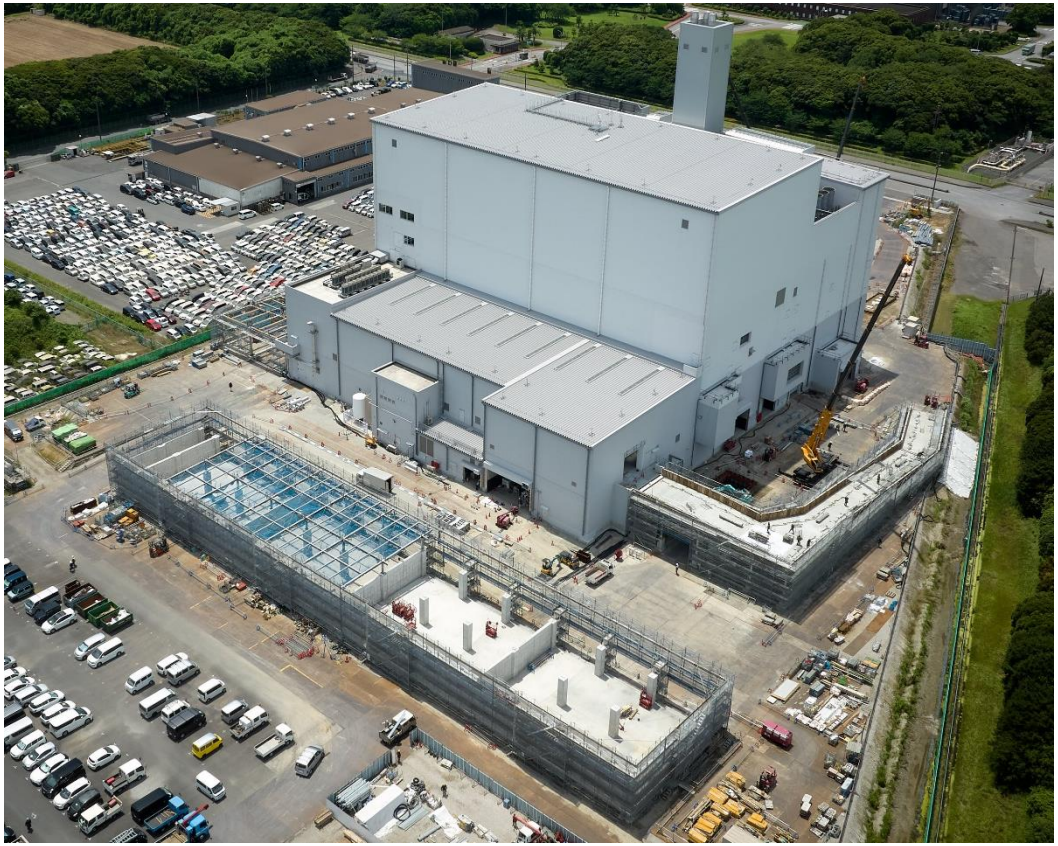


広域廃棄物処理事業

可燃ごみを富津市にて、君津地域（木更津市・君津市・富津市・袖ケ浦市）と安房地域（鴨川市・南房総市・鋸南町）の6市1町で共同処理します。

施　設　概　要

施設建設
　令和5年9月～令和8年9月（予定）
（令和8年10月～　試運転予定）
操業開始
　令和9年4月（予定）
事業場所
　富津市新富地先
事業費
　約902億円
　（建設費及びごみ処理事業費）
町負担額
　約10億7,200万円
　（令和9～28年度の処理量により変動）



※令和８年７月現在（広域廃棄物処理施設）

中継施設建設事業

可燃ごみを一時仮置きする中継施設を南房総市と共同で建設しています。

施　設　概　要

施設建設
　令和7年4月～令和9年2月（予定）
（令和9年3月～　試運転予定）
操業開始
　令和9年4月（予定）
事業場所
　南房総市検儀谷地先
（現大谷クリーンセンター隣地）
事業費
　約86億円
（建設費及びごみ処理事業費）
町負担額
　約15億1,000万円
　（令和9～28年度の処理量により変動）

広域化に伴う、ごみ袋の金額やごみの持ち込みについては、今と同様の対応を予定しています。





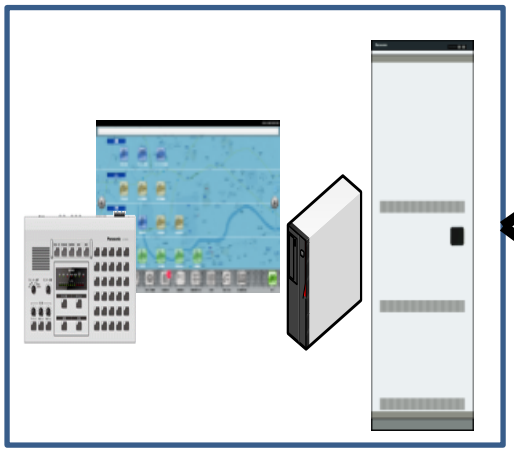
※施設完成イメージ図（中継施設）

安全・安心のための災害時の情報発信

複数メディアでの情報伝達

情報を同時に、複数手段で
放送・伝達します。

戸別受信機の音が聞こえにくい場合は
ご相談ください。



親卓

同時に一斉
配信可能

音声情報



屋外放送



戸別受信機

文字情報

携帯
メール

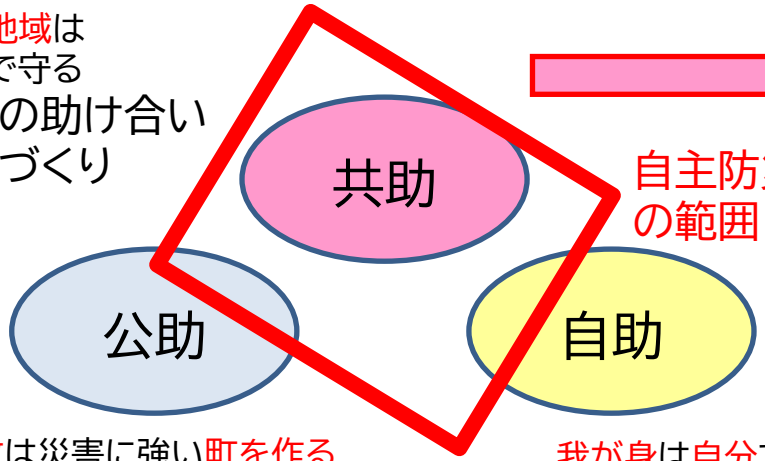
SNS



▲戸別受信機アンテナ設置例

自主防災組織の拡充

自分の地域は
自分達で守る
相互の助け合い
地域づくり



自主防災活動
の範囲

行政は災害に強い町を作る
基盤の整備
住民生活の安定

我が身は自分で守る
防災の基盤・第一歩

自主防災組織(主要な役割)

○防災意識の高揚(自助の促進)
○初期救助・消火
○避難支援・弱者救護
○避難所運営
○地域の防災環境の整備(助成・連携)

防災活動は三位一体

区分・機能が異なるのですべてが機能して効果を発揮



防災訓練:避難所運営



避難誘導・支援



町内危険個所点検

消防団活動



消防団員募集中！

定員数
199人

団員数　144人（令和8年4月1日現在）
（令和8年度新入団員5人）



	団員数
本部	4人
女性団員	14人
第1分団	29人
第2分団	34人
第3分団	31人
第4分団	32人



防災備蓄要領の見直し

1 非常(緊急用)食料の保有定数の見直し

町内における災害様相の反映＋最近事例の教訓の取り込み

(従来)
人口の10%に3日分
(基本的に一括購入)

(現在)
人口の30%に3日分
(消費期限を考慮し、7年分割によるローテーション)

2 保管体制の見直し(分散保管から集中保管へ)

被災・避難状況への柔軟な適応＋管理の容易性

各避難所に連接した
防災倉庫に分散保管



佐久間小体育館＋保田防災倉庫に
集中保管

避難者数等に応じて
避難所(指定・自主)
＋各地区防災拠点等　に配布

今後の課題(改善方向)

- 災害実相への適応
- 避難生活における質の向上
- 地域力強化との連携

地域住民
(自主防災組織)
との連携が必要不可欠



イメージ

総合防災訓練

令和6年度から11月第2日曜日に定例化

避難訓練（声掛け避難）



総合訓練（関係協力機関等との協働連携）



避難所開設訓練（施設点検等）





11月8日（日）開催予定
地域の皆様の積極参加をお願いします